

Cente Technical Information

| | | | | | |
|--|---|-----|-----|-----|------------|
| 発行番号 | 001-0061 | Rev | 第1版 | 発行日 | 2011/11/04 |
| 題名 | アーカイブ属性が0のファイルを正しく処理できない不具合について | | | | |
| 情報分類 | 技術情報 | | | | |
| 適用製品 | ・Cente FileSystem Ver4.01～Ver6.00 ・Cente exFAT FileSystem Ver2.00 | | | | |
| 影響API | fopen, fopen_uni, remove, remove_uni, rename, rename_uni, move, move_uni, chk_dsk | | | | |
| 関連資料 | なし | | | | |
| 【現象】 アーカイブ属性が1に設定されていないファイルを指定した場合、正しく削除できません。不正なディレクトリエントリが残ってしまいます。 "w"モードでfopenした場合、既存ファイルは開けるが、不正なディレクトリエントリが残ってしまいます。 又、chk_dsk()ではそのファイルに対してチェックができません。 尚、Cente exFAT FileSystem単体ではこの不具合は該当しません。 Cente FileSystemと結合した場合に発生します。 | | | | | |
| 【原因】 ファイルであることを識別する手段としてアーカイブ属性が1である事を利用していました。 | | | | | |
| 【回避方法】 | | | | | |
| ■運用での回避方法 アーカイブ属性が0のファイルに対しては chg_attr APIを使ってアーカイブ属性を1に設定した後 該当API を利用して下さい。 尚、fopen "r", "r+", "a", "a+" の場合はこの不具合には該当しません。 | | | | | |
| ■プログラム修正による回避方法 fs_dir.cの以下の関数に修正が必要です。 fs_find_dir_entry_sub() fs_dir_uni.cの以下の関数に修正が必要です。 fs_find_dir_entry_uni_sub() 修正方法につきましては、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。 | | | | | |
| 以上 | | | | | |